Kenren Kanon No.49
カノン
神奈川県合唱連盟機関情報誌
2005年春号
発行：2005. 4. 10

第28回神奈川県合唱フェスティバル

『ユースクワイアフェスティバル』大成功!!

2月１３日、第２８回神奈川県合唱フェスティバル「ユースクワイアフェスティバル」が県立音楽堂で開催されました。今年は昨年までの「県内合唱連盟大集合」というテーマから、「ＯＢ・ＯＧ合唱団大集合」という新テーマに沿って県内の各中学・高校の部活動や少年少女合唱団のＯＢ・ＯＧが結成して活動している団体にスポットをあててのコンサートになりました。

出場団体は、ユース「松林の風」、Trinity& Chor Muse et Lys(トリニティ＆コールミュゼリス）コール・キリエ、男声合唱団「グリーンスリーヴス」合唱団たまとも、ヴォーカルアンサンブル・ヴィクトリア、マルベリー・チェンバークワイアの７団体で、出演者は160名でした。入場者数は約600名で、出演者と合わせるとほぼ会場は満席に(見える！？)近い入りでした。

オープニングには三善晃編曲の「唱歌の四季」より、「おぼろ月夜」「茶摘」がコール・キリエの廣石先生の指揮により合同で演奏されました。ミュージカルを素敵に歌ってくれた「松林の風」や、ステージ後方から歌いながらの入場やエレクトーン伴奏を入れた合唱団たまとも、正統的な音楽を聞かせてくれたヴィクトリアなど、さまざまな工夫を凝らしたステージを披露してもらえました。

合唱団たまともの演奏

どの団体を聴いても、若い人たちの歌声はとても澄んでいて、レベルが高く、ご来場の方は満足されたようでした。

エンディングは同じく「唱歌の四季」より「雪」と「夕焼け小焼け」を合唱団たまともの岩本先生の指揮で合同演奏しました。

合同演奏のリハーサル風景

演奏会終了後は、音楽堂のロビーでお楽しみの打ち上げパーティーが行なわれ、心ばかりの軽食が用意され、事務局次長の名司会により、大いに盛り上がりました。

マルベリーのメンバーによるフェスティバルを称える（？！）替え歌(ハトヤの歌)や、男声合唱、全員合唱など歌も盛り沢山で、歌の仲間が集まるとこんなにも楽しいのかと思えるような一日でした。

（実行委員長・飛永悠佑輝＝投稿）

☆☆

【次回企画】

もう一度このユースクワイアフェスティバルをやろうということになりました。内容をさらに進化させてこんどはＯＢと現役にひとつのステージを作って貰おうということを考えています。ぜひ来年こそは私たちもと考えておられる団体は、県連まで御連絡下さい。

日時）平成18年2月12日（日）
場所）神奈川県立音楽堂
締め切り）５月末

１．平均年齢35歳以下のＯＢ・ＯＧ合唱団で、その母体となる現役と一緒に出演すること。
２．ステージ持ち時間は20分。時間内の割り振り、演出は各団体にお任せします。現役とOBのそれぞれが単独演奏をしてから合同をするとか、すべて合同にするとか、創意工夫を大いに期待します。

これを機に出身団体との交流をさらに深められることを期待しています。また、県連加盟団体以外（県内に限ります）でも、出演希望があればお受けしたいと思います。皆様の身近で、この企画に合うような団体がありましたら、お知らせ下さい。

尚、申し込み多数の場合は、実行委員会の方で、選出させていただきますので、あらかじめご了承下さい。現時点では、出演希望だけで結構ですが、こんな企画を考えているというようなアピールがあればお伝え下さい。選考の際考慮いたします。

カノン49号主な内容

・合唱フェスティバル　/　・アンサンブルコンテスト
・ジュニア合唱祭　他
・コンサートガイド
巻末特集「世界合唱シンポジウム」

速報!! 平成17年度 総会開催

春うららかな日曜日４月３日に横浜駅西口の「かながわ県民センターホール」に於いて「平成１７年度神奈川県合唱連盟定期総会」が開催されました。会場には定刻の１３時半よりもかなり前から熱心な会員の方々が詰め掛けて、用意した２６０脚の椅子はほぼ埋め尽くされました。

定刻を少し過ぎてから始まった総会は、始めに平井事務局長から出席者２２１名、委任状１０２通の計３２８団体の出席により総会の成立が宣言されて会議に入りました。今回の議長はマルベリーチェンバークワイアの団員であり、個人会員でもある杉山範雄さんが務めて下さいました。

会議は昨年のような会費の値上げ案や理事任期切れに伴う人事などがないためか、極めてスムーズに且つ平穏に進み、およそ９０分ほどで終わりました。

真ん中に議長の杉山氏、向かって左に桑原理事長、平井事務局長、鈴木事務局次長、右に田中登志生副理事長、田中実事務局次長

総会資料から伺える昨年度の各行事やその執行に関わる会計面も順調かつ活発に行なわれています。合唱連盟の活動を支える運営費の赤字分を各行事の黒字分で補っていくという昨年提出された会費改定案も、結果として充分以上に機能し「もしものとき」の備えを構えるのに必要な黒字額を生んでくれました。今年度も、引き続いて活発な活動を展開すると共に、更に備えを強固にすべく、年次の黒字幅を増やせるように経費の節減に努力する必要があるのは言うまでもありません。会員各位が積極的に連盟の行事に参加することが連盟の活動基盤を強化することに繋がります。是非参加して下さい。

言うまでもなく合唱連盟の活動は参加している皆さんの会費によって支えられています。昨年、累積する運営費の不足分を会費値上げで一気に解消するのではなく、その一部を行事に直接参加した人が補填する方法を選んだのも、また、次代を担うこどもたちに合唱の楽しさを伝えて、合唱を通じて人間教育をして行こうと言う活動に予算をつぎ込んでいくことに賛成してくださったのも、皆さんの善意の表れだと思います。皆さんから預かっている会費を大切にしながら、みんなが合唱を楽しんでもらえる環境を守っていくことが合唱連盟の大きな仕事だと思っています。今年度もよろしくお願いいたします。

（文責＝事務局次長・鈴木章司）

新会員続々・・・

今回総会資料には昨年度中に入会された合唱団が紹介されていますが、当日参加した新会員の代表の方が一人ずつご挨拶をされました。会場からは暖かい拍手が起こり和やかな雰囲気となりました。

勢揃いの新会員

時には笑顔も

熱心に報告をきく・・・

速報!! その２ 神奈川県ジュニア合唱祭開催

総会の前日、４月２日土曜日に神奈川県立音楽堂に於いて「第２７回神奈川県ジュニア合唱祭」が開催された。花曇りというには桜の開花も遅れた中で少し肌寒い一日だったが、会場内は少年少女の美しい歌声と見守る大人達の熱気にあふれていた。

合唱祭にはいくつか目的があるが、まず、講師の先生から講評を頂いてこれからの演奏の糧にすること。そして、志を同じくする人と交流を持って楽しい思い出を作ること。更にこの合唱祭には面白い試みがある。それは、団員同士がお互いに聞きあってメッセージを交換すること。メッセージの交換だから、演奏の批評ではない。いいところを見つけて褒める。お互いに褒めあうのだから気持ちの悪いはずはない。もう一つ。各団から代表が集まって合同で演奏すること。指揮は当日の講評者の方が行なうのだ。講評に呼ばれるのは毎年素敵な方ばかりで、その方が事前に何回か練習に赴いてくださった上で当日のリハーサルを経て本番に臨んでくださるのだから、人数の関係で全員が登ることの出来ないステージに立つことの出来たメンバーには最高の思い出になるだろう。もちろん本番の演奏も素晴らしいものになるのだが、出来ない相談ではあるけれども当日のリハーサルを聞くことをお勧めしたい。事前の練習や各団での自主練習のお陰で充分に出来上がった合唱だが指揮者の一言に敏感に、的確に反応してどんどん変っていく様子を目の当たりに出来るのはいつも感動的である。

演奏会のあと近くのレストランでケーキとコーヒーの簡単なレセプションが開かれるのもこの合唱祭の特徴かもしれない。そこへ同席させていただくと各合唱団の指導者がお互いの悩みを打ち明けて話し合ういい機会になっているようで、様々な実情と心情が語られていた。

今回１０人に満たない人数で参加してくれた合唱団もあり苦労は絶えないが、指導する人たちが諦めずに夢を追って活動を続けてくれることが一番だろう。

ここ数年減少傾向にあるジュニア部門の合唱団数であるが、今回は１１団体が集まった。ジュニア合唱祭が始まったころは２０数団体が参加していたことを考えるとゾッとするような減り方で、加速度的に減っているのはどうすればいいんだろうか？

来年また、この１１団体が集まり更に一つでも多くの団体が入ってくれるのを祈っている。

合同演奏のステージ　　撮影　清水一二

岩本先生の指導振り。先生は県立多摩高校の指導者として名を馳せたが、今は県立弥栄東高校に赴任されそこでも大活躍。昨年の松下先生も然り。こどもを前にした指揮者は実に表情豊かである。

K.V.E.C
ハイレベルの戦いになったジュニア部門

３月１３日（日）、神奈川県立音楽堂で「第７回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト」が行なわれた。今年も県外からの参加を含む３６団体が男声、混声、シニア、女声、ジュニアの各部門に分かれて１次審査に臨み、金賞団体および金賞該当のなかった部門からは銀賞の最高得点団体が２次審査に進んだ。

今年は、シニア部門にも参加者があり、期待されたが残念ながら得点が足りずに２次審査にはすすめなかった。しかし、演奏すること歌うことを心から楽しんでいる姿は審査員室でも大いに話題となっていた。これからもチャレンジして欲しいし、心からコーラスを楽しむ姿は合唱を愛する人のお手本になるだろう。

厳しい審査結果がコンテストの将来を決めるか。。。
（左から審査員長・小泉先生、田中副理事長、
桑山先生、今井先生）

審査員特別賞には
日立コール・システム・プラザが
選ばれた。　撮影　清水一二

審査は厳しいものとなり各部門金賞該当なしかと思われたが、今年は順番が変り最後に登場したジュニア部門が高いレベルの演奏を披露して金賞を獲得した。　特に総合１位を分け合った小田原少年少女合唱隊と横浜雙葉学園聖歌隊はそれぞれの持ち味を出した非常に高いレベルの演奏で甲乙付けがたく同点１位ということになった。ここ数年ずっと一位を分け合ってきた両合唱団が正に火花を散らしての戦いになったのである。今回の同点優勝で両団体とも来年こその気持ちを一層強く持って練習に励むことになるだろう。他の出場者にとって手強いチャンピオンである。

以上のように、厳しい審査の中実力を発揮した団体が栄冠を射止めたわけで、後発のコンテストとしてユニークな面が語られることの多かったＫＥＶＣもレベルの高いコンテストの仲間入りを果たしつつあるのが分かる。日本を代表して海外で活躍するコーラスグループのプロフィールにこのコンテストのリザルトが書き連ねられるようになる日も遠くはないだろう。

第７回
かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト
結果

男声部門　　※金賞なし
　銀賞　合唱団お江戸コラリアーず
　銅賞　マルベリーメールクワイア
　　千葉県立佐倉西高校合唱部　Quintillis
シニア部門　※入賞団体なし
混声部門　　※金賞なし
　銀賞　日立コール・システム・プラザ
　　Ensemble Maius
　銅賞　秦野南が丘高校合唱部
　　Voices わ
女声部門　　※金賞なし
　銀賞　Trinity
　銅賞　湘南白百合学園高等学校コーラス部
　　ヴォーカルアンサンブル・ヴィクトリア
　　アンサンブル・ピノ
ジュニア部門
　金賞　横浜雙葉学園聖歌隊
　　小田原少年少女合唱隊
　銀賞　金沢少年少女合唱団
　　聖ヨゼフ学園中・高等学校グリークラブ

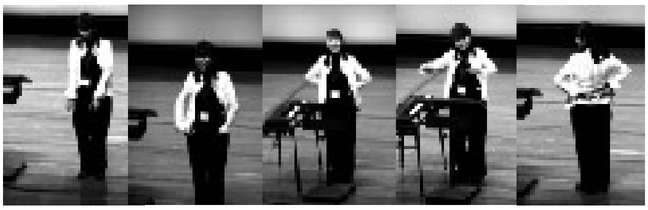
総合第１位　横浜雙葉学園聖歌隊
　〃　　小田原少年少女合唱隊
総合第３位　Ensemble Maius（千葉市）

合唱講習会
理事長登場に受講生殺到!!
クワバラ・マジック！？　大盛況

　今年最初の県連事業である１月の合唱講習会が、昨年から固定化されつつある会場、横浜市栄区ＪＲ本郷台駅近くの「地球プラザ・プラザホール」で、開催されました。
　今回は午前中を「中高生のための講習会」、午後からを「一般会員のための講習会」と銘打って開かれしたが、午前中からの熱心な一般会員の方も多く見られ、会場は定員いっぱいの人であふれかえりました。講習会史上例を見ない大盛況の訳は、言わずもがな、講師に我らが理事長、桑原妙子先生をお迎えしたからでしょう。桑原先生ご自身がご多忙であることや、県内でのこうした活動を控えているという事情もあり、ありそうでなかった機会に、会員の待望感、期待感があいまっての人出になったのでしょう。

緊張の中指導を受けた大倉山リリーコーラスの皆さん

　午前中は多摩高校、生田高校の合唱部が指導を受け、いつも先生が指導している小田原少年少女合唱隊を「モデル合唱団」に、いつもの練習をそのまま披露。午後からは大倉山リリーコーラスを指導。「モデル合唱団」には昨年の全日本合唱コンクールで、金賞・愛媛県知事賞・シード権を獲得したマルベリー・チェンバークワイアが登場しての公開練習？となんとも贅沢な講習会になりました。



　日本語の発語、発声方法、フレージングなど、とても明快で分かりやすいと、受講者からも大変好評でした。全体合唱ではテキストが混声合唱であったにもかかわらず男性の受講者が少なく、松村実行委員長を除くすべての男声スタッフが歌わせていただくという幸運を得たのは、楽しい出来事でした。
　このように大変好評であるにもかかわらず理事長は再登場を渋っておられるとか。。。お忙しいとは思いますが、是非また、何度でもご登場いただきたいものですよね。
（会員の皆さんからの熱いメッセージをお待ちしています。）

満員の会場で片隅に集合したマルベリーとスタッフの男声陣に席はない

今年は２日間開催です
第48回 神奈川県合唱コンクール
出場団体募集中!!

　今年もコンクールにエントリーする季節がやってきました。
　例年通り９月に開催されるコンクールですが、今年は昨年の反省に基づき、２日間開催になります。ただし、会場確保の都合で初日は９月３日土曜日で中・高・大学の学生部門を、後半の職場・一般部門は９月１１日日曜日にそれぞれ神奈川県立音楽堂にて開催します。
　さて、昨年は全国大会に駒を進めた団体が大学部門の鎌倉女子大学合唱団、一般部門のマルベリー・チェンバークワイアと２団体も出て、素晴らしい結果となりました。マルベリーは全国大会シード権を獲得したので、県内の一般団体としては出場団体数により割り当てられる県代表の椅子が一つ空いたともいえるわけです。これは大きなプレゼントをマルベリーがもたらしてくれたと感謝しつつ、関東大会へ駒を進める千載一遇のチャンスです。どうしようかな？と二の足を踏んでいた合唱団には朗報ですよね。是非参加しましょう！
　コンクールの舞台でしか得られない感動や音楽する幸せがあります。その客席でしか味わえないものもあるでしょう。出場するもよし。聴衆として参加するのもいいですよ。
　９月のコンクール。お忘れなく！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

第１５回　**間近です！**
神奈川県おかあさんコーラス大会

　来る４月29日金曜日（祝日）は「おかあさんコーラス大会」の日です。午前１１時から神奈川県立音楽堂を会場に２０団体が日頃の練習の成果を競います。競うといってもそこは「おかあさん」の大会です。うたはもちろんダンス、パフォーマンスやハッとするような衣装など、大いに楽しめること請け合いです。ゴールデンウィークの入り口です。近くて安くて（入場無料！）楽しいコーラス大会に、お出かけになってはいかがでしょうか？

昨年の全国大会から～
　こんな衣装やパフォーマンスが続々と・・・

第48回 神奈川県合唱祭のご案内

合唱祭実行委員長　田中実

今年の合唱祭は、６月１１日(土)、１２日(日)、２５日(土)、２６日(日)の４日間に亘って開催いたします。実行委員会では、色々なイベントを企画しながら、１団体でも多くの合唱団が参加しやすいように、又、参加する合唱団の皆さんが、この音楽堂に来て良かった、楽しかったと思える合唱祭を目指してがんばっております。今年企画したイベントの中から幾つかを紹介いたします。

●ハンドベル演奏　　６月２５日(土)午後４時頃
「きりく・ハンドベルアンサンブル」

弦楽四重奏、サクソフォンカルテットと続いたこのコーナーですが、今回「天使のハーモニー」と呼ばれている、ハンドベルの演奏をおとどけします。管・打楽器出身の若手を中心に結成された異色の小編成ハンドベルグループで、２年間の徹底した準備期間を経て、ハンドベル界のトップ奏者として世界的に評価の高い大坪泰子（全米トップグループ「ソノス」の一員としても活躍中）等の名手をメンバーに迎え、昨年度より本格的な演奏活動を開始。早くもその新人離れした技量と音楽性で注目を集め、その活躍と将来性が期待されているハンドベルアンサンブルです。

●作曲家コーナー　　６月１２日(日)午後２時頃
「信長　貴富」特集

今年の「作曲家コーナー」は、若手作曲家で大活躍中の信長貴富先生を迎え、ワンポイントアドヴァイスを頂いたり、お話をうかがったりのステージを企画しました。信長先生の曲を演奏なさる合唱団は是非このコーナーに出演して下さい。参加をお待ちしております。

●コスチュームファッションショー
６月１１日(土)午後１時頃
「スーパーモデル募集中」

毎年合唱祭の舞台に花を添え、好評を博しているファッションショー（ユニチカ提供最新コスチューム）のモデルを募集します。スーパーモデルの感激を味わえる絶好の機会です。サイズ合せをしてあなたにぴったりのドレスをお届けします。合唱祭初日のＡブロック及びＣブロックに出演される方、特に参加をお待ちしています。

●その他

合唱祭では、その他色々なイベントを企画しております。パフォーマンスコーナーでは「リージーズ（理事ズ）」。合同合唱では、ジュニアそして中学高校の若い歌声がステージいっぱいに広がります。公開レッスンは岸信介先生。詳しくは先日お送りした合唱祭参加要項の「合唱祭の一日の流れ」をご覧ください。

地域と結ぶ合唱プロジェクト・番外編
特別企画　岐阜の温泉地に見た

合唱 育むちから

神奈川県合唱連盟事務局次長
カノン編集委員長　鈴木　章司

岐阜県の山間地。飛騨への玄関口にある下呂市は日本でも有数の温泉地として名高い。この遠方にある下呂市立金山中学校が、横浜みなとみらいホールを借り切って卒業記念合唱ＣＤを作ったというニュースはカノン誌上でも既報済み。その金山中学から「プロジェクト」チームに「合唱指導に来訪されたし」とのメールを頂いたというお話を伺い、同行取材をとお願いをしたところ、平井副理事長から「運転手＋助手として」同行してよしとのお許しを頂き期待に胸躍らせてご当地へ向かうこととなった。

金山中学校校舎風景

花の咲く季節は更に美しいであろう小高い丘の頂上をすっぽりと削って平らにした所に校舎は建っている。生徒は毎日長く急な坂を元気に上り下りしているのだ。

訪れたのは昨年１１月の連休初日、晩秋というには余りにも暖かい東海道をひたすら西へと進む。道中はもっぱら合唱談義、県連の運営ばなしで時間の長さを感じない。事務局で移動するときはいつもそうだが、本当に合唱ばか（イイ意味で）が集まっていると思う。平井副理事長も自ら指導する合唱団の演奏会が間近に迫る中での強行軍であったし、何よりお仕事（企業コンサルが正業？なんですよ）のスケジュールを調整するのが大変な筈なのに、嬉々として出かけている。余談になるが「地域プロジェクト」と通称している我が神奈川県合唱連盟の青少年育成事業は数少ない専任の講師の方々の並みの努力ではない活躍で支えられている。地道ではあるが確実に効果をもたらしているのは、理事長や副理事長担当理事、講師の方々のお陰と県連会員の皆様のご理解があってこそのもの。１０年２０年と息の長い活動を続けて貰いたいものだ。

金山町は下呂市の中心部からは車で４０分ほど南の地域。お昼に横浜を出た我々が現地に入ったのが夕方６時近かったこともあって学校訪問は翌朝ということになっていたが、校長先生がわざわざ宿泊先のホテルまで来てくださってのご挨拶をうけた。先方の期待の大きさを感じて、恐縮したが、何よりご当地下呂の温泉が緊張も体の疲れも適度にほぐしてくれたのは言うまでもない。

（温泉について巷間騒がしいが、ここ下呂の温泉に関しては素晴しいの一言。
掛け流しのお湯がとうとうと流れる様には感動すら覚える。）

宿泊した宿の露天風呂 (イメージです)

翌朝、いよいよ学校へと向かう。校長先生のお話では、宿から学校までは２０分ほど。しかし走ってみると４０分近くかかる。地元の方はローカルルールで走ると言っても２０分は早すぎる。（校長先生恐るべし。）

校内に入って驚いたのは、校舎の隅々まで行き届いた清掃ぶり。とにかくチリ一つ落ちていないのである。もちろん我々の来訪はニュースであろうから直前に掃き清めることも出来るだろうが、そんな付け焼刃で出来るものではない。

校長室で音楽担当の先生と顔合わせ。聞けば専門は管楽器とのこと。神奈川県内でもそうだが、各学校に音楽選任の方がいるのはまだましで、どの先生も自分の専門外のことを必死にやっていらっしゃるのだ。合唱の未来への道筋は本当に険しい。

早速２校時目から１年生を指導する。少し早めに音楽室に入り生徒の入場を待っているとガヤガヤと少しずつまとまって入ってくる。このときの挨拶がまた気持ちいい。大きな声でハキハキトとした挨拶が出来る。こちらは自分の子どもにも「知らない人とは目をあわすな！」という教育環境にあるのでかえってドギマギしてしまう。指導は、間近に迫った校内合唱コンクールの各学年各クラスのレベルアップを目標に、学年ごとに２時限ずつ１００分間通して行い、学年全体で課題曲を練習して、クラスごとの自由曲を、少しだけ見ることになった。限られた時間の中で生徒のみんなも精一杯のパフォーマンスを見せてくれた。

１年生は特に男子の変声期との兼ね合いで混声合唱をするのは難しそうだった。中にはうらやましいほどのボーイソプラノで歌う男子もいるが、中途半端に声の音域が下がり、また、上手にコントロールに出来ずにいるような男子もいた。このような場面で、平井先生の永年児童合唱に携わってきた指導力は大きな力だ。

まず歌ってみせる。正しい音を聞かせる。抑揚を付けて歌わせる。小学校で音楽の授業を受けて以来３０年以上に渡る筆者の合唱履歴上でいつも繰り返されている光景であるが、生徒達にはとても新鮮だったようで、目が輝いている。打てば響く。生徒達の熱心さには頭が下がるが、各担任の先生方も授業の空き時間に次々と音楽室に顔を出している。先生方と生徒達の心の近さを感じる出来事の一つだ。

顔を出した先生方は必ず驚きの声を上げるのだ。短い時間で何故これ程変るのか？これ程素晴らしくなるのか？答えは実は簡単ではなく様々なテクニックが隠れていたのかもしれない。一部始終を間近に見ているはずの私の力でも理解し切れなかったと思う。ただ、私が見たままを感じて思うには、一言。目の前でやってみせること。これに尽きると思う。正しい音で歌ってあげる。正しいリズムを歌ってあげる。メロディーを聞かせてあげる。この、どこの合唱団でもごく当たり前に行なわれているであろう合唱指導をやってあげることで、驚くほど飛躍的に子ども達は成長する。先生達には是非、歌ってあげて欲しいと思うのだが、他教科の先生方はもちろんのこと、音楽の先生といえども大学での専攻が楽器であったりましてや合唱を専門に教えるコース等採りようのない学校では、この簡単なはずの歌って見せるということも難しい課題なのかもしれない。

5月の横浜での再会が楽しみな２年生

☆☆

難曲に挑む３年生

さて、指導の方は美味しい給食を校長室で頂いた後２年生に移る。２年生ともなると、男子の声も大分落ち着いて、しかも女声が素晴らしかった。聞くところによると合唱についてや発声などは代々先輩が新入生のクラスに出向いて指導をするそうで、特に女声の声は伝統的にいい声になっている。この伝統は実に素晴らしい。来年横浜に来るという今年の２年生には今から楽しみだ。

ア・カペラの難曲（木下牧子「夢みたものは」）で校内コンクールのあと市民音楽祭？に臨むという３年生は混声４部合唱の難しさを少々持て余していた。特に男子は変声期も落ち着いてきているとはいえ、低音を自由にコントロールできるほどにはなっておらず、「夢見たものは」のコーラスを支えきれていない。声の実情に合った曲を選ぶのも指導する上での大事な留意点なのだ。

ピアニストとのアイコンタクトは恥ずかしい？

２日間とも各クラスの指揮者に、指揮法の入門編の極々サワリの一部くらいを指導したが、これも指導者がしっかりしていないと指導できない部門の最たるところ。残念ながらこればかりは充分伝わったとは言い難かった。（時間が無さ過ぎる！）

名残惜しい想いを振り切って帰路についた我々はあっという間に現実の時間、横浜の空気の中に戻ってきた。「夢みたものは」に歌われる「やまなみのあちらにも　しづかな村がある　明るい日曜日の青い空がある」というフレーズそのままの環境の中で日々合唱に囲まれている子ども達のなんと幸せなことだろう。わたしにとってはこの歌を歌う時必ず思い浮かべることの出来る「原風景」を手にすることが出来た貴重な旅だった。

最後に校長室で見せて頂いた金山中学の取り組みを紹介した地元新聞の記事を転記させていただく。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

岐阜県・金山中学校の実践と成果

金山中学校には、「五つの心と五つの豊かな体験」と言う"宝物"がある。五つの心とは「感動する心」「高める心」「見つめる心」「つくりあげる心」「思いやる心」これらの心を育てるため豊かな経験としてそれぞれ「合唱」「あいさつ」「清掃」「集会」「奉仕」という実践を学校生活の場で展開し、大きな果実になった。平成４、５年度に文部省の道徳教育推進校の指定を受けて取り組んだこの実践が評価された。五つの活動や運動は「常時的体験」と位置付け、その推進役は生徒会の執行部や専門部だった。生徒達の自治活動として定着し、成果を挙げた。

「合唱」は町内外でも定評がある。練習は毎日朝夕の二回。生徒が自発的に曲を選び練習する。三年生が一、二年生を指導する縦割り練習も上達の秘訣。クラスが一つ結集するパワーが生まれるのも合唱だ。校内合唱コンクール、文化祭などはもちろん、町内の諸行事にも出掛け、生徒達の歌声は大人達にも感動を与えている。

「あいさつ」は一人の生活委員が毎朝玄関に立ち、運動をはじめた。一年間、その生活委員が朝のあいさつを続け、輪が少しずつ広がった。教師や来客と擦れ違う度に笑顔で「こんにちわ！」と声を掛け、生徒たちも心を高めた。

「清掃」には大きなひずみがあった。私語が多く、掃除が下手・・・。自分を見つめ、心を磨けと「黙働」を学年の縦割りグループで推進した。今では率先して十五分間の掃除に集中する生徒たちの姿がある。

「集会」では週一回の全校集会に特徴がある。清掃やあいさつなどの運動成果や合唱をクラス毎に発表、それに対する感想発表が行なわれる。ほとんどの生徒が自ら手を挙げ、ステージで堂々と発表。皆で心を一つに集会をつくり上げる姿は見事と教師らも認める。

「奉仕」は学年ごとに町内の河川、公共施設清掃、職場の勤労体験、お年寄りとの交流や福祉体験に取り込む。この活動を通して友だちの「良いところ」を見つけることも大切な課題。相手を思いやる心が芽生え培われる。

このような「心の教育」を足場に、生徒と教師が一丸となり、素晴らしい校風・伝統を築き続けている。

1994年12月16日金曜日付 岐阜新聞　生き生き実践教育」

子どもの側に立ち教師にも意識改革を

「心の教育」は昨今、その必要性、重要性が増している。生徒たちの前向きに物事に取り組む姿勢が見られるようになり、喜んでいる。教育は、子ども達に取り組む前に先生の意識改革が必要。日常生活で、生徒への姿勢や態度を変えることを呼びかけた。「師弟同行」、子ども達とともにーを徹底し、合唱も一緒に、はいつくばって清掃も一緒にやった。先生方にも感謝している。子どもの側に立った教育、教師自身も巻き込んだ心の教育、地域に根差した教育活動を今後も進めていきたい。

(当時の重盛一哉校長先生の談話)

BBCシンガーズ

鎌倉芸術館でコンサート

現在世界最高峰の室内合唱団の一つ、イギリスのBBCシンガーズが今年８月に鎌倉芸術館でコンサートを開くことが決まった。

この合唱団は、BBC(イギリス放送協会)が組織するプロの合唱団で、放送への出演を中心にＣＤ録音やコンサートなど精力的に演奏活動をしており、繊細で美しいアンサンブルには定評がある。指揮者には同合唱団首席指揮者スティーブン・クレオベリーが帯同する。彼はケンブリッジ・キングス・カレッジ合唱団の音楽監督をも務めるオルガニスト。世界の一流合唱団、オーケストラとも共演を重ね、ＣＤ録音も多く、幅広いレパートリーを誇る。

今回の来日は、この夏の「第７回世界合唱シンポジウム／世界合唱の祭典・京都」に特別招待合唱団として参加するためだが、開催期間後に各地で開かれるサテライトコンサートの一つとして鎌倉にやって来るのだ。タリス、ブリテン、ホルスト、グレンジャーなどなど古典から近、現代の曲が並ぶプログラムは、この合唱団の最良の部分を聴くことが出来るだろう。

チケットの販売は下記要領にて行なわれている。

京都には行けないなあと、この夏のシンポジウムに諦めのため息を漏らすあなた。鎌倉の一夜を是非お聴き逃しなく。

日時：８月５日(金)19:00開演　(開場は18:15)
会場：鎌倉芸術館　大ホール　(JR大船駅東口徒歩八分)
入場料：全席自由　一般　4,000円
学生(高校生まで)3,000円
申込方法：FAXのみ受付
①購入枚数　②郵便番号　③送付先住所氏名
④電話番号　⑤FAX番号　以上を明記の上
神奈川県合唱連盟事務所(FAX＝045-681-6033)
までFAXにてお申し込みを。
※詳しくは各合唱団にお届けしているチラシをご覧下さい。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ヘンデル生誕320年記念
復活祭　メサイア 公演
繊細に、爽やかに

年末にメサイアを歌う行事は各地でお馴染みだが今年は復活祭その日にメサイアを演奏するという公演が開かれた。開催したのは横浜混声合唱団を中心とする「復活祭メサイア実行委員会」で、県連も桑原理事長が合唱指揮者を務めるなど協賛している。指揮は小泉ひろしさんで、こちらも年末のクリスマスコンサートでお馴染み。60人という比較的少人数の合唱とバロック様式の小編成オーケストラの組み合わせに、若手ソリストとの共演が生み出す音楽は繊細で美しく、且つ爽やかな印象を観客に与えたようで、とても好評だった。最近は合唱好きを自認する若い方でもこの曲を経験していない人も多いだろうが、素晴らしい曲なので是非機会を持って欲しいものだ。

撮影：清水一二

神奈川県合唱連盟加盟団体

コンサートガイド

2005年 4月～

☆3月 10日までに編集室へお届けのあった分について掲載しました。

☆次回締め切りは6月 20日。発行は7月 11日の予定です。

4月	30日（土）開演 17:30	**相模原市民混声合唱団 第14回定期演奏会** ◇「Messe」 ブラームス作曲 ◇混声合唱のための童謡メドレー「いつの日か」 源田俊一郎編曲 ◇沖縄のうたによる混声合唱組曲「うっさ くわったい」 瑞慶覧尚子作曲 指揮：五十嵐修 ピアノ：遊間郁子 会場：グリーンホール相模大野 大ホール　入場料：1,200円 お問い合わせ：鈴木正明さん 042-747-4004
5月	5日（木・祝）開演 15:00	**混声合唱団コール044 第12回定期演奏会** ◇「MASS FOR THREE VOICES（3声のミサ）」 W.バード作曲 ◇「メーリケの主題による追想詩 春」 小野寺玉峰作詩 吉岡弘行作曲 など 指揮：藤丸崇浩・門馬啓一 ピアノ：大野真由美 会場：フィリアホール　入場料：500円 お問い合わせ：杉村さん 042-799-2878
	8日（日）開演 14:00	**「今ふく風は」コンサート** 演奏：コール・アミカ、コール・なおび、南区合唱団サウスウインド、横響合唱団 他 指揮：中村守孝 ピアノ：上 雅子 会場：横浜市南区公会堂　入場料：1,500円（全席自由） お問い合わせ：中村音楽センター 045-832-3597
	15日（日）開演 14:00	**第17回 コール・キリエ演奏会** ◇「悔悟節のための4つのモテット」より プーランク作曲 「Timor et tremor」「Vineamea electa」 ◇混声合唱のための「どちりなきりしたん」 千原英喜作曲 ◇懐かしの合唱曲集 指揮：廣石 雄司　ピアノ：入川 めぐみ 会場：フィリアホール　入場料：前売り500円／当日 800円 （カノン持参前売り価格・小学生以下無料） お問い合わせ：吉田さん 044-946-3940 又は concert@chorkyrie.com

5月	22日(日) 開演14:00	**混声合唱団 相模台グリーンエコー** **第18回定期演奏会～創立30周年記念演奏会～** ◇4声のミサ(1651) Cモンテベルディ作曲 ◇混声合唱組曲「光と風をつれて」 工藤直子作詩 木下牧子作曲 ◇「5つの願い」(委嘱初演)より 矢沢寧作詩 堀内貴晃作曲 他 指揮者：山本龍紀、大沢利郎 ピアノ：宮田尚子 会場：杜のホールはしもと 入場料：700円 お問い合わせ：藤井さん 042-754-8307
	26日(木) 開演18:30	**明神台リリーコール 第12回演奏会** ◇「みすずこのみち」 鈴木憲夫作曲 ◇「ジプシーの歌」 ブラームス作曲 ◇「古都幻想」 岩河三郎作曲 ◇「仮面舞踏会」 Jシュトラウス作曲 磯部俶編曲 指揮：小栗純一 ピアノ：矢野令子 会場：横浜みなとみらい小ホール 入場料：1,000円 お問い合わせ：深津晴子さん 045-774-82
	27日(金) 開演18:45	**クール・ヴァロア 第12回定期演奏会** ◇やなせたかしの詩による「六つの愛する歌」より 平吉毅州作曲 ◇「長くて短い六つの歌」 林光作曲 ◇セレナーデ集 ◇「Messe in A」 J.Rheinberger作曲 指揮：中村皇 ピアノ：中村高生 オルガン：浅井美紀 会場：横浜みなとみらい小ホール 入場料：1,000円 お問い合わせ：高橋和子さん 045-822-6977
	28日(土) 開演18:00	**横浜コロ・フェニーチェ 第2回演奏会** ◇Missa in C KV259(オルガンソロ・ミサ) モーツァルト作曲 ◇「混声のためのイタリア歌曲集」 青島広志編曲 ◇大中恩・青島広志作品集 ◇モーツァルトの百面相 鈴木輝昭編曲(混声版編曲・石井康男) 指揮：石井康男 ピアノ：久野圭子 会場：神奈川県民ホール 小ホール 入場料：1,000円(全席自由) お問い合わせ：稲森浩二さん 090-3237-2764 MAIL：fenice@bg7.so-net.ne.jp HP：http://www007.upp.so-net.ne.jp/CoroFenice/CoroFenice.index.html
6月	5日(日) 開演14:00	**湘南コール・グリューン 創立55周年記念 第55回定期演奏会** ◇「山田耕筰による五つの歌」 三善晃編曲 ◇ロマン派宗教合唱曲集 ブラームス作曲・メンデルスゾーン作曲 ◇「女の象(たかち)」(2005年委嘱作品) 寺島陸也作曲 ◇「氷のいのち」 高田三郎作曲 指揮：榊原哲 ピアノ：鈴木永子 オルガン：浅尾直子 会場：藤沢市民会館 大ホール 入場料：1,000円(学生500円) お問い合わせ：鈴木さん 045-892-9371

6月	18日(土) 開演 15:30	**湘南はまゆう 第9回コンサート** ◇祈りの歌～光を求めて 「Pie Jesu」 A.L.Webber作曲 他 ◇「いきている意味」(委嘱作品) 古寺ななえ作詩・作曲 ◇民謡とわらべ歌で綴る日本の歌 「てぃんさぐぬ花」「長持唄」「ソーラン節」他 指揮:松村努 ピアノ:織田祥代 会場:茅ヶ崎市民文化会館 大ホール 入場料:1,000円 お問い合わせ:鈴木理恵子さん 0467-85-5785
	19日(日) 開演 14:00	**女声合唱団けやきの会 第15回コンサート** ◇ドナウディ歌曲集 斉藤四郎編曲 ◇日本歌曲による五つの無伴奏合唱曲 山本繁司編曲 ◇女声合唱とピアノのためのペルソナ「西海の恋歌」 関根榮一作詩 湯山昭作曲 ◇「中山晋平10のメロディー」より 岩河智子編曲 指揮:斉藤四郎 ピアノ:片岡敦子 会場:横浜みなとみらい小ホール 入場料:1,000円 お問い合わせ:北條帆津美さん 045-303-1902
	24日(金) 開演 19:00	**混声合唱団 翠声会 第28回定期演奏会** ◇「初心のうた」木島始作詩 /信長貴富作曲 ◇「泰西名歌・民謡集」から 青島広志編 ◇「死者のためのミサ」ブストー作曲 指揮:中村 皇 ピアノ:廣田千春 クラリネット:井上梨江 ソプラノ:佐竹由美 バリトン:田代和久 会場:県立音楽堂 入場料:1,000円 お問い合わせ:藤野篤子さん 044-766-8509
	29日(水) 開演 19:00	**コール・シャンテ 第7回演奏会** ◇「Southern All Stars SELECTION」(委嘱初演) 信長貴富編曲 ◇「大地の貌」 谷川俊太郎作詩 寺島陸也作曲 ◇「やわらかいいのち・スカラカポン」 新実徳英作曲 ◇「さとうきび畑」 寺島尚彦作詩・作曲 清水昭編曲 他 指揮:清水昭 ピアノ:石井滋子 会場:横浜みなとみらい小ホール 入場料:1,000円 お問い合わせ:勢(せ)渡(と)さん 0467-86-5865
7月	2日(土) 開演 14:00	**コール・マーガレット 10周年記念演奏会** ◇愛の歌 「この広い野原いっぱい」「愛の挨拶」「ウィーンわが夢のまち」他 ◇夏のメドレー 「海」「われは海の子」「砂山」「椰子の実」 ◇フォスターアルバム 「おおスザンナ」「懐かしいケンタッキーの家」「草競馬」他 ◇「マイフェアレディ」より F.Loewe作曲 指揮:鳥海周子 ピアノ:有賀寛子 会場:横浜みなとみらい小ホール 入場無料 お問い合わせ:久野さん 045-561-8492

7月	3日（日）開演14:00	**コールりんどう　30周年記念演奏会** ◇「三つの聖歌」ロッシーニ作曲 ◇「花のタンゴ」服部公一編曲 ◇磯部俶女声合唱曲集　「江の島旅情」 女声合唱組曲「噴水のある風景」「小さな人魚姫のものがたり」他 指揮：蟻生栄子　ピアノ：吉永恵　ソプラノ：原亜紀子　ナレーター：磯部和 友情出演：フラウエンコールいそべ 会場：南足柄市文化会館 大ホール　入場料：1,000円 お問い合わせ：蟻生栄子さん　0465-74-6634
	8日（金）開演19:00	**女声合唱団横浜アカデミー 演奏会** ◇「Stabrt Mater」Tartini作曲 ◇「Two Eastern Pictures」Holst作曲 ◇「Summer Time」Gerswin作曲　他 指揮：伊集院俊光 ピアノ：吉田慶子 会場：かなっくホール　入場料：2,000円 お問い合わせ：中山安子　042-714-2213
	9日（土）開演14:00	**女声合唱団シャン・クール ビエンナーレ・コンサート** ◇「Gloria」Vivaldi作曲　「Stabart Mater」Pergolesi作曲 ◇美しい歌の花束　「Standchen・Wiegenlied」R Strauss作曲　他 ◇童声と合唱とピアノのための「モーツァルトの百面相」 山川啓介作詩　鈴木輝昭作曲 ◇女声合唱曲集「落葉松」小林秀雄作曲 指揮：篠崎義昭　ピアノ：須江太郎 会場：県立音楽堂　入場料：1,500円 お問い合わせ：佐藤栄子さん　045-383-3468
	10日（日）開演14:30	**鎌倉市民混声合唱団 第20回記念定期演奏会** ◇「小さな空」武満徹作詩・作曲 ◇混声合唱組曲「沙羅」清水重道作詩　信時潔作曲　木下保編曲 ◇「レクイエム」Jラター作曲 指揮：川合良一　ピアノ：飛松利子 ソプラノ：斎藤三和子 オーケストラ：アンサンブル・ライン 鎌混記念オーケストラ 会場：鎌倉芸術館 大ホール　入場料：1,500円（全席自由 高校生以下無料） お問合せ先：成富正規さん　0467-48-6986

☆　コンサートガイド掲載要項

神奈川県合唱連盟に所属していれば、この「カノン」にコンサートのお知らせを無料で掲載することが出来ます。是非ご利用ください。掲載希望の方は下記の項目を記したものを郵送かＦＡＸ、またはｅ－ｍａｉｌにて編集室までお申し込みください。ただし、掲載は１演奏会につき一度だけとさせていただきます。（送り先は巻末に記載）

掲載項目：１．開催日時　２．合唱団名（会員番号も列記してください）　３．演奏会名称
４．ステージ・曲目（作詩・作曲者名も記してください。紙面の都合で全て載せられないことがあります）
５．出演者　６．会場　７．入場料金等　８．問い合わせ連絡先

※カノン発行月と原稿締め切りの予定
春号　4月１０日発行予定　（〆切：　3月２０日）　夏号　7月１０日発行予定　（〆切：　6月２０日）
秋号１０月１０日発行予定　（〆切：　9月２０日）　冬号　1月１５日発行予定　（〆切：１２月２０日）

巻末特集 第７回世界合唱シンポジウム京都大会へのお誘い・7

大会テーマソング（坂本龍一作曲）の合唱譜（混声四部版、同声版）とＣＤが出来ました。楽譜のみは１部200円、ＣＤ付？は1,000円で県連から購入できます。詳細は県連事務所にお問い合わせ下さい。（今号もシンポジウの期間中に来日する海外の合唱団について、公式ホームページの力をお借りしてご案内いたします。）

サン・ミゲル・マスター・コラール（フィリピン）

フィリピンで最初のプロ合唱団。同国の芸術文化の充実に努めているサン・ミゲル舞台芸術財団により2000年11月創設された。以来、さまざまな合唱作品の初演を手がけてきており、特にフィリピンの文化センターで開催された「ランドスケープ（風景）」と題した単独コンサートは批評家の絶賛を博した。また、ジュリアン・キリット指揮のサン・ミゲル・フィルハーモニック管弦楽団との共演を録音したCD「ライアン・カヤビヤブの宗教曲」も発売している。現在のフィリピンで最も優れた歌手を結集しているだけにその実力は傑出している。

８月２日（木）イヴニングコンサートに出演

エントレヴォーセズ（キューバ）

女性指揮者のディーニャ・ゲラ・ラミレスによって1981年に結成された。スペイン、イギリス、イタリア各国のルネサンス時代のポリフォニーから現代音楽、ゴスペル、ラテン・アメリカのフォルクローレおよびキューバ音楽全般 をレパートリーとしている。ハバナ室内音楽コンテストではキューバ音楽最優秀賞を受賞。98年２月には、バチカンのサン・ピエトロ寺院でのミサに招かれ演奏した。その折にローマの聖イグナチオ教会で行なったコンサートは、聴衆、音楽専門記者や聖職者から絶賛された。

７月２９日（金）イヴニングコンサートに出演

ウィニペグ・シンガーズ（カナダ）

24人編成の声楽アンサンブルとして、会員制コンサート、演奏旅行、放送番組出演など幅広く活動している。レパートリーも中世のオルガヌムから現代音楽まで広い。新曲の作曲委嘱は同合唱団の重要な仕事のひとつである。2002年６月、トロント国際合唱音楽祭に招かれて出演、また03年５月には、カナダ合唱指揮者協会の全国会議「ポディウム2004」出演。ヒーリー・ウィラン賞を２回受賞し、カナダ最高の室内合唱団体として知られている。ユーリ・クラッツは、ロシアのペトロザボーツク生まれの指揮者。03年４月から当合唱団の芸術監督を務めている。

７月30日（土）イヴニングコンサートに出演

イ・マドリガリスティ・アンブロジアーニ（イタリア）

1994年に結成された、ルネサンスとバロックを中心レパートリーとするミラノの古楽合唱団。12人のソロアンサンブルを基本編成とするが、演奏の芸術的必要性に応じて、カルテットから24人編成の室内合唱団まで、その規模と編成は自由に変化する。97年から合唱団の芸術監督・音楽監督を務めるのは、68年ミラノ生まれのジャンルカ・カプアーノ。イタリア古楽演奏家グループの新しい世代に属する音楽家で、オルガン奏者、通奏低音奏者としても活躍している。イタリアの作曲家ジャーコモ・カリッシーミ（1605～74）の研究と演奏には特に積極的で、この作曲家のミサ曲とオラトリオの完全版を初めて収録したCDがある。

７月２８日（木）夜のスペシャルコンサートに出演

ヴォーカル・ライン（デンマーク）

1991年に現在の指揮者イェンス・ヨハンセンによって結成された。32人の団員の大半がデンマーク王立音楽アカデミーやオーフス大学で正式な音楽教育を受けたメンバーで、ヨーロッパの伝統と、現代的なアメリカのア・カペラ・スタイルを融合した音楽スタイルが特徴。レパートリーは、ポップス風、ロック風、ジャズ風、ワールド・ミュージック風のオリジナル作品や編曲作品だが、伝統的な歌唱法による豊かな表現力が彼らの独特な音楽を形づくる。指揮者のヨハンセンは、王立アカデミーやオーフス大学で、「ポップ・ロック・ジャズ合唱団のための編曲」「クラシックと現代音楽の理論と分析」「現代の合唱団の指揮」などの講義も持つ。

７月３０日（土）イヴニングコンサートに出演

韓国国立合唱団

1973年、韓国初のプロ合唱団として設立された。年４回の定期的コンサートと２回の国内ツアーを実施、それ以外の特別プログラムや国立歌劇団の定期公演にも参加している。レパートリーは、ルネサンスから現代の合唱芸術まで幅広い。合唱、舞踊そして戯曲を統合した独自のスタイルのミュージカルを制作する実験的な舞台にも挑戦するなど意欲的。海外公演としては、香港で開催された世界合唱祭に招待され、ホノルル交響楽団とも共演している。これまで団員からは多くのオペラ歌手やソリストを送り出している。

７月30日（土）アフタヌーンコンサートに出演

「世界合唱シンポジウムのための10円募金について」

この世界合唱の祭典を成功させるために、「10円募金」という形で皆様にご協力をお願いする次第です。どうぞご理解のほどお願い申しあげます。　（社）全日本合唱連盟理事長　吉村信良

編集後記　今号から毎回の発行日を早めることになりました。ハーモニーの発行に合せて、ハーモニーが出来るだけ早くお手元に届くようにしようということです。もちろんＩＴ化の進む編集部ですから何の問題もないはず。。。。だったんですが、年末年始と同様年度末、年度始めというのも厳しいスケジュールになりました。それでも、徹夜は二晩で済みそうですが。。。シンポジウムも近くなって、ＢＢＣシンガーズの演奏会のチケット手配もあるし、おかあさんコーラスもあるし、おっと、自分の合唱団も演奏会（洋光台混声）4月16日神奈川県立音楽堂です。よろしくw(^^;)もすぐだし。
春眠～～ナ筈なんだけど、寝る時間がない。あ、でも、昼間寝てるわ！　ホンと、ダイジョブなんだろか？？

神奈川県合唱連盟　情報誌「Ｋａｎｏｎ（カノン）」
編集・発行　神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会
発行責任者　桑原妙子

神奈川県合唱連盟・事務局
〒２３１－００２１
横浜市中区日本大通１５　朝日会館ビル４Ｆ
０４５－６８１－６０３３（FAXとも）
ホームページＵＲＬ：http://homepage2.nifty.com/kanagawakenren/
eーメールアドレス：kanagawakenren@nifty.com

Japan Choral Association KANAGAWA